

GILLETTE: BILLED AFTER DEATH

FERDINANDO FREGA



GILLETTE:死後の請求書

The Art of Attraction · 07

死ぬことが問題になったことは一度もなかった。私のような男にとって、唯一の気がかりは場所の選択だった。もしその機会が与えられていたなら、間違いなく最高の場所を選んだだろう。知らない女のベッドだ。

私に言わせれば、それこそが、今の私たちとこれからなる私たちとのあいだの、群を抜いて最高の通過点だった。持参金として快樂のアプリを持っていく計画は、いつも忘れずに。

アハハハハハハハ

6回の昏睡状態が試み、そして失敗した。余命は大雑把に、48時間から長くても30日のあいだと告げられた。だがこうした予測をするのは、たいてい医者たちだった。公的医療制度が処方箋の代金を払う医者たち、そして彼らだけではない。製薬会社のための狙いすました処方箋の中に隠された報酬で、愛人と休暇に出かける医者も。そして決して、決して、気象学の専門家による本物の予報ではなかった。

そして毎回、ベッドの脇には、時間どおりに、覚えている限りいつも同じものが置かれていた。同じ型、同じ色、同じ細部、空気穴なし、まるで寸法を測って作られたかのような棺。名札つきだ。FERDINANDO FREGA。

誰も笑わなかった。だがそれはいつもそこにあり、待っていた。そのあいだ地獄の取締役会は、私を地上に残して gillettenarrative.com でみんなのケツの痛みにさせておくほうが得か、それとも電話も金もないあの場所へ移らせるほうが得かを決めていた。そこで私は新しいALFHABETDEVILを作

り出し、きっと彼らの今のフォーマットまで揺るがしてしまっただろう。

そして私が地上に残ることがはっきりすると、ある日、葬儀社の請求書まで届いた。明細と費用項目には、こう書かれていた。

霊柩車の停車6回。

棺の予約。

二重殻モデル、XXLサイズ。

棺の担ぎ手8名を30時間拘束。

維持費およびスタンバイ待機時間。

税金および付加価値税。

利息および再評価。

合計:3500ユーロ、請求書の日付から30日以内に銀行振込にて。

魔法にかかったように、私は宛先の情報を確認めに行った。間違いだと確信して。ところが見つかったのは私自身の情報で、完璧に正しかった。疑いの余地はなかった。死んだ男が生きている男の分を払わねばならず、その請求に異論の余地はなかった。

だが誰も、私が予想外の男だとは知らなかった。病院を出て、自由な時間に、そして家での長い待機のあいだに、私は葬儀社に電話をかけるようにした。故人の息子になりすまして。いくらか時間を投資し、冗談をひとつ、またひとつと重ねて秘書の好感を勝ち取ると、私は彼女を夕食に誘った。彼

女は何の苦もなく応じた。なにしろ私は、死んだ男の息子にすぎなかったのだから。

この件を自分の目で見て、そのあと何が起きるのかを理解するつもりだった。男が定義上死んだとみなされたとき、何が起きるのか。だが私はそれを生きたまま語ることができる。それが私を夢中にさせた。

彼女の家まで迎えに行った。彼女は強く甘い香水をつけていた。私を連れていって、私はあなたのもの、と語るたぐいの香りだ。40歳くらいで、もう青春の盛りとは言えなかった。

私はかなり年上だった。だが私の家族では、年齢はいつも意見であって、出生証明書の事実ではなかった。それに、身分証明書を持ってベッドに入りはしない。あれは教会用だ、結婚するときの。

夕食のあと、私は死の請求書に異議を申し立てた。サービスそのものではない。それは神聖で異論の余地がなかった。そうではなく、その品質と種類だ。それは合意されたものでも提案されたものでもなかった。注文は自動的に出されていたのだ。かわいそうに、彼女はその場の難しさを感じ取り、値引きを申し出るしかなかった。だが、いくら？

私は攻撃的に見えなくなかった。なにしろ私は推定上の死者だったのだから。そこで金の話は別の日に回し、彼女も同意した。

夕食の支払いの段になって、魔法のように、財布を持っていないことに気づいた。だが彼女は親切で気前よく、私が払うから問題ないわ、と言ってくれた。金額は今も覚えている。169ユーロ。

店を出ると、私は彼女を家まで送り、謝った。書類ごと財布をなくしたこと、そしてその晩は、ロマンスも遺失物のあいだにとどまることを説明した。

彼女は微笑んだが、何も言わなかった。うなずいた。女だけが心得ているやり方で。

1時間ほどして、財布が見つかったとメッセージを送った。そして彼女に衝撃を与えた言葉を。

ねえ、僕は請求書の男なんだ。

死んだって言っただろう。

問題は、僕がまだ生きていて、きみの会社に金をかけさせ続けていることだ。

169ユーロがその証拠だ。

死なない男を決して信じてはならない。

Ferdinando